

謹賀新年



議会機能の充実を図り
市民福祉の向上をめざす

甲賀市議会議長 谷永兼二



“オール甲賀”で希望あふれる
令和の新しい時代に向けて

甲賀市長 岩永裕貴

新年あけましておめでとうございます。皆様には、令和の新しい時代の初春をお健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

市民皆様の付託に全力で応えるべく決意も新たに、4年目となります。昨年を迎えました。改めて、市政に献身的にご尽力いただいた方々をはじめ多くの市民の皆様のご功績に、心からの感謝を申し上げます。

さて、第2次甲賀市総合計画に定めました本市の将来像『いい甲賀いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまち』の実現に向けて、議会や市民皆様のお声を丁寧に向いながら「オール甲賀」での取り組みを進めてまいりました。

将来にわたり活力ある市政を持続していくためには、人口減少社会への対策は不可避であり、これまでから取り組んでまいりました子どもを育みやすい環境づくり、教育の充実や若者・女性の活躍等をさらに進めていくことが重要であると考えております。

また、地域の経済力を高めていくことも大変重要であります。連続テレビ小説「スカーレット」の効果による観光客数の増加や、7月には忍者を核とした観光拠点施設が本市観光の玄関口として完成することから、日本遺産の「忍者」「信楽焼」をはじめ「東海道」「くすり」「お茶」等、魅力的な地域資源による観光振興を図り、多様な働き場の創出につなげることで地域経済を一層活性化してまいります。

加えて、本市の発展に必要な重要なインフラである名神名阪連絡道路の早期実現や、JR草津線の利便性向上につなげる活動を関係機関と連携し積極的に進めてまいります。

さらには、シニア世代や障がいのある方が住みなれた地域で自分らしく暮らせるよう、支え合いのコミュニティづくりにつなげる「我が事・丸ごと地域共生社会」の実現等、甲賀市に暮らして本当によかったと実感いただけるまちづくりを着実に進めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、本年が明るく希望に満ちた年となりますと共に、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本列島は多くの災害に見舞われ、年々甚大化する自然災害の猛威をあらためて痛感させられました。

こうした中であって、スポーツ界では国際大会における多くの日本選手の活躍がありました。中でもラグビーワールドカップで初のベスト8進出という快挙を成し遂げた日本代表は、選手たちがONE TEAMとなり日本中に勇気と勝ち負けを越えた感動を与えてくれました。

甲賀市議会も昨年度の議会改革度ランキングで全国64位と大きく順位を上げました。今後も「開かれた議会」の実現をめざし、市民の皆様にご実感していただけるよう議会改革に引き続き努力してまいります。

今後は、市民参加の機会を拡充し、皆様の多様なご意見を把握して、議論を重ねながら具体的な施策に結びつけるとともに、市議会が一丸となって議会機能の充実強化を図ります。そして行政と議会が車の両輪となって諸施策を確実に実行し、「住みよさと活気あふれる甲賀市」の実現に自らの役割を果たしてまいります。

さらには、二元代表制のもと、執行権に対する監視機能や議事を通じた決定機能、政策提案機能とそれを補完する議員提案の条例制定などにONE TEAMで取り組み、甲賀市のさらなる発展に尽力してまいりますので、今年も一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実りある飛躍の年となることを願い、ご健勝とご多幸を議員一同、心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

結ぶに、本年が皆様にとりまして実りある飛躍の年となることを願い、ご健勝とご多幸を議員一同、心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。